（一社）四国サッカー協会　公式記録用紙録

大会名【　JFA U-12ガールズゲーム2023四国　決勝　】

日　時	2023年12月3日(日)　15:00	試合形式	36分　延長6分　PK方式	会場名	JAアグリあなん運動公園陸上競技場
天　候	曇り	気温	13℃	湿度	51%	風	微	ピッチ状態	観衆数
運営責任者	石田　淳	副審	－	補助審判員	鹿耳　正剛	芝	良	300　人
主　審	山本 泰輔	副審	－	記録担当	湯浅　功治	表面	ドライ	

FC Stella & ELF				東讃ガールズ
KICK OFF	0	1P	3	KICK OFF
	0	2P		
	0	3P		
		延長前半		
		延長後半		
		PK		

シュート 延長	3P	2P	1P	計	得点	選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名	得点	シュート 計	1P	2P	3P	延長
				0		塩﨑　優奈	△	1	GK	GK	1	△	西山　優莉愛		0				
				0		池内　明日香	△	2	DF	MF	2	○	小早川　桃百香	1	1	1			
				0		大山　ゆゆ子	○	3	DF	MF	3	△	熊野　実ラ		1			1	
				0		稲田　彩那	△	5	MF	MF	4	△	松本　明峰		0				
				0		真鍋　ゆうか	○	6	DF	DF	5	○	田中　美桜		0				
				0		福田　俐緒	△	7	FW	DF	6	○	上村　実花		0				
			1	1		小野　こまち	○	8	DF	FW	7	○	玉田　実愛		0				
	2			2		坂村　穂舞	△	⑩	FW	DF	8	○	脇　愛梨		0				
				0		山神　叶夢	○	11	MF	MF	⑩	△	夛田　実奈美	2	3		3		
		1		1		古林　咲	△	12	GK	DF	11	△	多田　智春		0				
				0		松田　柚衣	○	17	MF	MF	13	○	香川　楓花		0				
				0		古林　結	○	21	GK	FW	14	○	松村　璃和		0				
				0		高木　日向	△	26	MF	GK	16	○	西山　明華莉		0				
				0		北野　仁菜	△	30	DF										
				0		大山　らら子	○	31	FW										
			1	1		合田　美結	○	32	FW										

警告・退場 時間・警／退	No.	氏名	事由	監督 濱谷　了司	監督 依田　夏紀	警告・退場 事由	氏名	No.	警／退・時間

	延長	3P	2P	1P	チーム合計		1P	2P	3P	延長
	2	1	2	5	シュート	5	1	3	1	
	1	2	0	3	GK	3	1	1	1	
	1	1	2	4	CK	0	0	0	0	
	0	0	0	0	直接FK	0	0	0	0	
	0	0	0	0	間接FK	2	1	0	1	
	0	0	0	0	(オフサイド)	2	1	0	1	
	0	0	0	0	PK	0	0	0	0	

得点時間	得点チーム	No.	得点者	アシスト	得点経過　記録例　～:ドリブル　→:ゴロパス　↑:浮き球パス　×:混戦　S:シュート　H:ヘディング
2分	東讃ガールズ	2	小早川　桃百香		～　2S
17分	東讃ガールズ	10	夛田　実奈美		→　10　～　10S
23分	東讃ガールズ	10	夛田　実奈美		～　10S

PK戦の経過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

※出場欄　○:先発出場　△:交代出場　空欄:試合登録して出場なし

戦評者氏名【　八田 雅文　】　　勤務先又は所属【 一社 徳島県サッカー協会四種委員会 】

決勝は香川県同士の対決となった。試合は早速第1ピリオド開始2分に動く。東讃の2番小早川さんが縦へのパスをもらってハーフラインからのドリブル突破からゴールを奪い先制する。その後、対するステラ＆エルフもサイド攻撃からチャンスを作るも相手の粘り強い守備に得点を奪えない。第1ピリオドはお互い決定的なチャンスを作れない中、ワンチャンスを決めた東讃のリードで終了する。第2ピリオドは立ち上がりから東讃がサイド攻撃を中心にゴール目指すがゴールが奪えない中、第2ピリオド5分、東讃10番夛田さんがゴールを決め、追加点を奪う。ステラ＆エルフも10番坂村さんを中心に攻めるもシュートチャンスが作れない状況が続く。そんな中、ステラ＆エルフがコーナーキックからのこぼれ球を12番古林さんがシュートを狙うが相手GKにセーブされ得点が奪えない。その直後、東讃の10番夛田さんが中央からのドリブル突破からゴールを奪いさらに追加点を重ね第2ピリオド終了。最終第3ピリオド、開始3分ステラ＆エルフがサイド攻撃からチャンスを作り10番坂村さんがコントロールからのシュートを狙うがポストに弾かれゴールを奪えない。その後はお互いチャンスを作れず試合終了。東讃が数少ないチャンスを個人の力でゴールを奪い終始試合を優位に進めゲームを制し、優勝を飾った。